

# 質 疑 ・ 回 答 書

令和4年11月7日

発注番号	04KA-160	件 名	百済寺跡築地塀第2期復原整備工事
No.	質 疑 事 項		回 答
1	A-12 縦胴縁 C-75×45×15×2 も【第1期工事】と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		よろしいです。
2	A-04 瓦の産地、普通又は耐寒瓦の仕様をご指示下さい。		産地の指定はありません。仕様は普通を想定しています。
3	A-12 鉄骨造築地塀の壁仕上「版築様左官仕上3mm」とありますが、材料メーカー、仕様をご指示下さい。		メーカーの指定はありません。仕様は外部使用に対応したものとしてください。
4	A-12 壁（耐水合板、ラスモルタル、版築様左官仕上）は、盛土面に接し合板が腐食すると想定されますがその対策工事は別途工事と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		腐食対策については、木工事の防腐処理剤を塗布してください。なお、最下部まで仕上げた合板を盛土へ埋込み、多少盛土が流れても良い仕上げを想定しています。
5	A-12 木材の小口塗装は必要ありませんか、ご指示下さい。		外部面の小口は塗装が必要です。
6	A-12 壁仕上と木材（柱・土居桁）の取り合いに亀裂が起きると想定されますが対策工事は別途工事と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		設計上は、柱・土居桁にトンボ（髭子）などを打ち込んで土との離れを防ぐことを想定しています。
7	A-02 工事用水・工事用電気は、場内既存施設の利用となっていますが工事現場の近くに存在しますか。又 水道、電気の使用量は無償支給と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		施工範囲近くに存在し、無償支給とします。
8	A-12 雀口は配合漆喰仕上と考えてよろしいでしょうかご指示下さい		よろしいです。
9	A-06 工事現場事務所、職人詰所、仮設便所の設置場所は北西面角の資材置場、工事車輛3台置場と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		A-06 図記載のとおりですが、監督員と協議の上、工事ヤード内等への設置も可能です。
10	A-05 桧材の等級は上小節と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。 版築造塀の版築土内に埋もれる木材は、桧一等と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		いずれについてもそれでよろしいです。

11	A-05 木材保存処理（加圧注入・養生・熱処理）とは、版築塀の版築土に埋もれる木材のみ、化粧材に対して木材保存処理は行わないと考えてよろしいでしょうかご指示下さい。	化粧材も含め全ての木材について保存処理を行ってください。
12	A-04, A-12, A-17 瓦寸法について、A-12, A-17 塀断面図に、熨斗瓦、丸瓦、平瓦の詳細な寸法記載がありますが、A-04⑬特記仕様書の記載寸法と異なります。A-12, A-17 塀断面図の寸法を正と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。	A-04「⑬屋根及びとい工事」に記載の寸法を正としてください。
13	A-08, A-16 棟端部の仕舞について、A-08 立面図、A-16 図の瓦棟端部の仕舞は切りっぱなし納めでよろしいでしょうか、それとも鬼瓦等を付けるのでしょうか。また、A-08 立面図には、出隅部分に鬼瓦が描かれておりますが、仕様、形状等をご指示下さい。	切りっぱなし納めでよろしいです。 鬼瓦（一枚）の仕様及び形状は別添のとおりです。
14	A04, A12, A17 瓦の施工方法について、A-12, A17 塀断面図には、瓦棧等がありませんが、土葺き工法での施工と考えてよろしいでしょうか、或いは、横棧、縦棧を打った上に平瓦を葺く工法でしょうかご指示下さい。	鉄骨造の部分は、軽量化も鑑みて乾式（棧打ち）とします。 版築造の部分は、本格的な土居葺きとします。
15	A-12 鉄骨柱 C1-L100*100*10 と土居桁 240*90 の接続部分の柱上部プレートにボルト貫通穴明けが必要ですが 1 期工事と考えてよろしいでしょうか、また、取付ボルト M16 は 1 期工事として支給して頂けると考えてよろしいでしょうかご指示下さい。	ボルト貫通穴は 1 期工事としていますが、取付ボルトの手配は 2 期工事としています。
16	A-13 化粧柱取付用アングル L-6*50*50 は 1 期工事ですが、コーチボルト M9 L=50 も 1 期工事として支給して頂けると考えてよろしいでしょうかご指示下さい。	コーチボルト M9 L=50 の手配は 2 期工事としています。
17	A-08, A-12 壁 @ 3, 012 の縦目地切り寸法、仕様をご指示下さい。	幅 20mm、深さ 20mm 程度、充填剤は変性シリコンを想定しています。
18	A-17 図端部断面図礎石の仕様をお教えてください。	A-15～17 図の記載に関わらず、礎石の設置は要しません。
19	A-17 図同上礎石納まり寸法が基礎幅から外れると考えますが、外れた部分はモルタルによる調整と考えればよろしいでしょうか。	No. 18 のとおりです。
20	A-16. 17 版築造部分は基礎と柱の緊結はないと考えてよろしいでしょうか。	柱脚と基礎は金物などを使用して緊結します。詳細な仕様は監督員との協議とします。

21	A-03 2 改質アスファルトシート防水 AS-J1 とありますがどこの部位でしょうか。	野地板の上に敷設してください。
22	A-3 12 木工事 ⑫壁及び天井下地に樹種松とありますが、どの材料の事でしょうか。	A-05 特記事項に記載の「使用する木材は全て桧材とすること」を正としてください。
23	A-04 15 左官工事 ⑥仕上塗材仕上 薄付仕上塗り材 砂壁状吹付とありますが、A-12 図では版築様左官仕上 3mmとありますが、どちらでしょうか。	A-12 図を正としてください。
24	A-12.17 野地板もヒノキ材でしょうか。	ヒノキ材です。ただし、版築造の土居葺きは、樫としてください。
25	A-14.16 間柱 貫外面と版築土のかぶり厚が 37mmとなっていますが、亀裂や破断を起こすと考えます。どのような工法をお考えでしょうか。	貫伏せ等を想定しています。
26	A-14.16 貫の柱仕口は下げ鎌でしょうか。	そのとおりです。
27	A-08 柱端下端部の礎石の仕様をお教えてください。また鉄骨柱部分は石材を欠き取るものと考えてよろしいですか。	No.18 のとおりです。
28	A-08 第一期工事基礎天及び鉄骨は水平に納まっているのでしょうか。	そのとおりです。
29	A-12 第一期工事施工の鉄骨柱は、端部及び矩形部分については、柱転びを考慮した形状となっていると考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
30	A-05 4 木材保存処理は指定業者がありますか。	業者の指定はありません。
31	A-05 6 瓦葺きにおいて、野地板上に防水層を設置するとありますが、A-03 ⑩ルーフィングの事でしょうか。	そのとおりです。
32	A-04 屋根工事 土居葺き材樫材は手割材でしょうか。	機械割材でも可能です。
33	A-02 交通誘導員は作業日のみの配置と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
34	A-03.05 ⑫木工事 防腐処理とありますが、木材保存処理したものに防腐処理を行うのでしょうか。	A-05 特記事項に記載の木材保存処理（ポリエチレングリコール等の注入）のみとしてください。
35	トイレは公園内公衆トイレを使用することが可能でしょうか。	可能です。

枚方市 総務部 契約課

TEL : 072-841-1345、 FAX : 072-841-2015

E-mail 送付先 : [keiyaku-kouji@city.hirakata.osaka.jp](mailto:keiyaku-kouji@city.hirakata.osaka.jp) (工事)

[keiyaku-itaku@city.hirakata.osaka.jp](mailto:keiyaku-itaku@city.hirakata.osaka.jp) (委託)

[keiyaku-buppin@city.hirakata.osaka.jp](mailto:keiyaku-buppin@city.hirakata.osaka.jp) (物品)